チェックリスト2020

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 質　　　　　問 | ４：よく当てはまる  ３：どちらかといえば当てはまる  ２：どちらかといえば当てはまらない１：ほとんど当てはまらない | 計 |
| １ 基本概念の理解  ・学習指導要領  ・学校教育目標  ・学校間等接続 | ① 学習指導要領改訂の趣旨を理解し、教科指導や分掌等の業務に反映している。  ② 学校教育目標・重点項目を理解し、教科指導や分掌等の業務に反映している。  ③ 児童生徒の実態について理解し、生徒一人一人に応じて個別に対応している。  ④ 「社会に開かれた教育課程」の趣旨を理解し、学校と地域の連携・協働を進めている。  ⑤ 社会的・職業的自立に向けて、学年間や学校間の「つながり」を意識し、キャリア教育に取り組んでいる。 | ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １ | /20 |
| ２ 主体的・対話的で  深い学びや  教科等横断による  資質･能力の育成 | ⑥ ｢主体的･対話的で深い学び｣の実現に向けて、授業改善に取り組んでいる。  ⑦ 学校が目指す児童生徒像の理解を基に、育成を目指す資質・能力を明確にして教科指導を行っている。  ⑧ 児童生徒が学習内容と社会の関わりを理解できるように、授業と社会の関わりを意識した授業を行っている。  ⑨ 他教科の学習内容との関連について理解し、教科等横断的な視点で教育活動に取り組んでいる。  ⑩ 児童生徒に育成すべき資質・能力について理解し、教科等横断的な視点で教育活動に取り組んでいる。 | ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １ | /20 |
| ３ ＰＤＣＡサイクル  を回した  マネジメント | ⑪ 実施状況の評価に当たって、各種調査結果やデータ等の客観的評価を活用している（Ｃ）。  ⑫ 評価結果を基に、課題解決に向けて多様な視点で改善策を考え、適切なものを選択している（Ａ）。  ⑬ 選択した改善策を基に具体的な改善計画を作成し、常に意識できるように組織全体に示している（Ｐ）。  ⑭ 目標達成に向けて、組織の理解と協力を得ながら業務に当たっている（Ｄ）。  ⑮ 評価について、項目の内容や実施スケジュール等の不断の見直しを行っている。 | ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １ | /20 |
| ４ 内外リソース※活用  ※学校内外の人材や予算、  　時間、情報、物品、会場  　などの資源 | ⑯ 総合的な探究(学習)の時間等において、指導目標の達成に向け内外のリソース※を計画的に活用している。  ⑰ 教科指導において、指導目標の達成に向け内外のリソース※を計画的に活用している。  ⑱ 行事、分掌、部活動において、指導目標の達成に向け内外のリソース※を計画的に活用している。  ⑲ 内外のリソース※を発見するために、普段から情報収集に努めている。  ⑳ 家庭や地域の人々に情報発信し、理解や協力を得ている。 | ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １ | /20 |
| ５ カリキュラム・  　 マネジメントの  　 推進 | ㉑ 各種業務について、具体的な目標を意識しながら日々取り組んでいる。  ㉒ 校長のリーダーシップの下、職員それぞれの持ち味を生かしながら協力して業務に当たっている。  ㉓ 学校の運営に職員一人一人が「自分事」として参画し、ポジティブな発想で業務に当たっている。  ㉔ 振り返りを基に、スクラップ＆ビルドで業務の効率化を進め、次年度につなげている。  ㉕ 学校のビジョンを共有する等、カリキュラム・マネジメントをテーマとした職員研修が実施されている。 | ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １  ４ ・ ３ ・ ２ ・ １ | /20 |
|  | 氏名（　　　　　　　　　　　　　　　）　実施日（　　　年　　　月　　　日） | /100 | |